



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

新年のご挨拶

病院長 榎 宏太郎

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当院に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

去年は、地域の皆さまのご要望にお応えすべく、昭和大学の全附属病院にてスタートしました土曜日午後の診療体制が、当院でも軌道に乗り始めました。

平日は学校の授業や塾を休めない生徒・学生さん、家族の手が足りないために来院できないお年寄り、お母さまが休みの日にようやく一緒に来れる小さなお子さま、週末に飛行機で東京に戻られる単身赴任のお父さま…。

新しい医療文化を創る、ということは容易なことではありません。

しかし、さまざまな理由から平日に来院することができない皆さまに、少しでもお役に立つことができるという喜びは、決して小さなものではありません。

元号が変わる新しい年も、全教職員が自らのやりがいを大切にして、より一層、明るく輝く医療機関を目指したいと思います。

皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



日の出 撮影者: 岩野

新年明けましておめでとうございます。平成最後の新年を迎えましたが、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

ご存知のとおり我が国の高齢化はますます加速し、総人口に占める65歳以上の割合は2050年には36.3%にのぼると予想されています。その背景には平均寿命の延伸があり、最新の統計によると我が国の平均寿命は男女ともに世界第2位です。こうした変化に伴い、医療の目的も延命から長くなった人生をより良く生きること、つまり健康寿命の延伸へと大きく変化してきました。

歯科医療においても8020運動(80歳で20本の歯を残すためのプロモーション活動)をはじめとしたさまざまな活動により、国民の口腔衛生状態は飛躍的に向上し8020の達成者はおおよそ5割となりました。一方では高齢化の加速により、歯の欠損に対する治療、つまり補綴(ほてつ)歯科治療の需要はむしろ増大傾向にあります。歯の欠損は咀嚼や審美性など生活の質に直接関連するため、健康寿命を延伸する上で補綴治療は大きな役割を担っています。

近年の補綴治療技術はデジタル技術の臨床応用を中心として急速に進歩しています。たとえば、以前は鋳型に金属を流し込む鋳造と呼ばれる複雑な手法で製作していたクラウンを現在ではCAD/CAM (Computer aided designing/computer aided manufacturing)技術を用いて製作することが可能となり、作業効率が劇的に改善されています。作業効率のみならず、ソフトウェア上で患者さんごとにクラウンの形態をデザインし(図上段)、工業生産された均一かつ高品質な材質

のブロック(図下段左)をコンピュータ制御の機械で正確に削り出すため(図下段中・右)、材質が優れ適合の良いクラウンを製作することができます。また、CAD/CAM用のブロックも、透明度が高く審美性が良好なもの、透明度は劣るが強度が高いもの、健康保険適用ブロックも含めてさまざまなものがあり、症例、患者ニーズに合ったものを自由に選択できます。

当院では、こうした技術をいち早く取り入れながら常に進歩、変化し続けております。また、一方では変わらず持ち続けているものがあります。それは、私たちが掲げる理念、“患者本位の医療”を実践することです。どんなにすばらしい医療技術であろうとそれを利用するのは人です。医療の中心は医療技術ではなく病を患う患者さんであり、技術革新の目的はあくまでも患者本位の医療を行うことです。そうした理念を変わず持ち続けて、できるだけ多くの方に日々進歩する先進的な歯科治療の恩恵を享受していただきたいと強く思っております。






図 上段:CADソフトを用いたクラウンのデザイン。
下段:左からCAD/CAM用ブロック、ブロックの削り出し直後、クラウンの仕上げ後
(前技工室責任者、鍛治田氏のご厚意による資料)

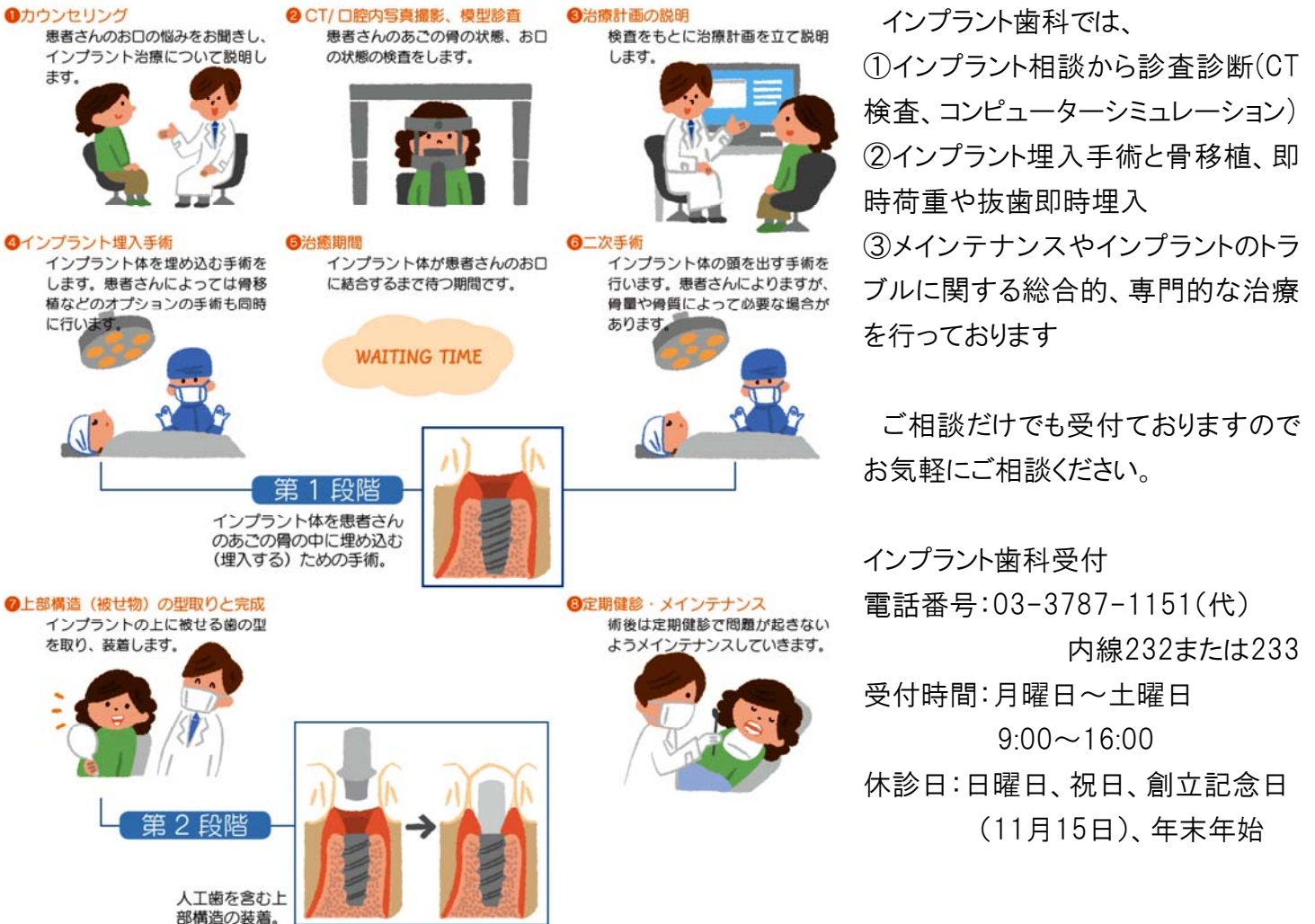
*** 歯を失って困っている患者さんへ ***
～インプラント治療のご案内と診療の流れ～

インプラント歯科 科長 宗像 源博

歯周病や重度のむし歯、外傷などで歯を失った場合、これまでは2つの方法しか選択できず、健康な歯を削りたくない、入れ歯が安定しない、違和感がある、咬めないと悩んでいる患者さんは多いのではないのでしょうか？

インプラント治療は、歯を失った所に歯の根っこにあたる部分にインプラント体(人工歯根)を埋め込み、周りの歯を傷つけることなく歯を補う治療方法です。

従来までの方法	インプラントにすると…
<p>①ブリッジ (両側の健康な歯を削って歯を作る)</p>  <p>②入れ歯 (取り外しが必要)</p> 	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと強く咬める ・歯ごたえのある食物の食感が楽しめる ・隣の歯を削らずにすむ ・自分の歯への負担が減り、歯が長持ちする ・取り外す面倒がない ・発音が安定して会話を楽しめる ・人工歯自体はむし歯にならない ・笑顔に自信が持てる 



インプラント歯科では、
 ①インプラント相談から診査診断(CT検査、コンピューターシミュレーション)
 ②インプラント埋入手術と骨移植、即時荷重や抜歯即時埋入
 ③メンテナンスやインプラントのトラブルに関する総合的、専門的な治療を行っております

ご相談だけでも受付ておりますのでお気軽にご相談ください。

インプラント歯科受付
 電話番号:03-3787-1151(代)
 内線232または233
 受付時間:月曜日～土曜日
 9:00～16:00
 休診日:日曜日、祝日、創立記念日
 (11月15日)、年末年始

患者満足度調査にご協力をお願い致します

患者サービスの向上を図るため、患者さんの声を聞かせていただきたく、下記の日程で「患者満足度調査」を実施いたします。

アンケートのご記入にご協力くださいますようお願いいたします。

- 1.調査日時:平成31年2月2日(土)～8日(金)
- 2.配布方法:自動再来受付機側のクリアファイルに同封いたします。また、初診受付・各診療科受付でも配布予定です。

3.回収場所:各階にアンケート回収箱を設置いたしますので投函してください。

☆アンケート調査結果につきましては、後日院内に掲示いたしますのでご覧ください。

患者サービス向上委員会



患者さんからの「ご意見・ご要望」についての回答

意見・ご要望	回答・改善等
病室内で充電ができるようにしてほしい。病室内でPCが使用できるようにしてほしい(個室以外でも)。	貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。病室内での充電(携帯電話・スマホ)は、可能となっております。必要な方にはケーブルも貸し出しておりますのでスタッフまでお申し付けください。 また、個室以外でのPCの使用は音の問題からご遠慮いただいておりますので、談話室をご利用くださいますようお願いいたします。 (事務課管理係)
1Fの多目的トイレに鏡がなく、不親切だと思った。	この度はご不便をおかけして申し訳ありませんでした。鏡につきましては設備上問題ないか検証し、可能であれば設置を進めさせていただきます。 (事務課管理係)
丁寧で的確、解りやすい説明と患者を思いやる気遣いの治療には感服しました。 半分疑いながら嫌々行っていた最近の歯医者さんはなんだっただろうと思うほど。我慢できなくなってから行っていたのが歯医者さんでした。 私が歯の治療に来るのが楽しくなるなど考えてもみませんでした。歯科医、治療の認識が変わりました。	貴重なご感想をいただき、誠にありがとうございます。私自身日頃から診療に対して、意識をしている部分なのでこのように感じてくださる事を非常に嬉しく思っております。この事をモチベーションにして、精進して参りたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。 (高齢者歯科)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は「災」の漢字一文字で表されたように大きな災害のあった年でもありました。被災された方には心からお見舞い申し上げます。

今年は己亥(きがい、つちのとい)で、5月には新しい元号を迎える年でもあります。今年はより良き年になるよう祈念し、患者さんの希望に沿った質の高い診療、よりよいサービスを今まで以上に目指して参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(N.M)

